

日中対照言語学会会報 (No.49)

2019年11月1日(金)発行

会報担当：加藤晴子 続三義

目次

1. 10月常務理事会拡大会議議事録
2. 日中対照言語学会第42回大会(2019年度冬季大会)開催のご案内

資料

3. 2019年月例会(2019年6月～2019年10月)

※ 事務局より

1. 10月常務理事会拡大会議議事録

日時：2019年10月19日(土) 16:00～17:30

場所：大東文化会館 K-404

出席者：加藤晴子、彭飛、続三義、王学群、竹島毅、安本真弓、白銀志栄、須田義治、安藤好恵、魯曉琨、橋本幸枝、椿正美、石井宏明、白石裕一(敬称略)

議題：

【審議事項】

1. 第42回大会(2019年度冬季大会)のプログラム

続副会長より発表者8名で、講演者を古川裕先生に依頼したことが報告され、了承された。

2. 学会役員選挙のスケジュール

続副会長より、2020年度会員選出のスケジュールについて報告があり、承認された。

日中対照言語学会役員選出に関する内規(暫定)について加藤会長から報告があり、承認された。

竹島理事より、投票用紙について質問があり、エクセルファイルを用いて、候補者の氏名をクリックをして○をつける方式を採用する予定である、と続副会長が回答し、具体的な方法に関しては、技術を持った理事と検討していくこととなった。

投票は10名連記として、11名以上投票は無効とすると、彭理事より提案があり、承認された。

「選出された次期会長は、選挙実施前の理事の人数を上回らない範囲で、必要と考える会員を理事に加えることができる」という一文を内規の7項として加えるという提案が加藤会長からあり、承認された。

3. 学会誌編集責任者の件

加藤会長が担当することが承認された。

【報告事項】

1. 学会誌第 22 号『日中言語対照研究論集』と特集号『副詞』の原稿募集の進捗状況

①学会誌 22 号への投稿論文は 28 本あり、今後査読を経たうえ、合格論文を掲載することが王事務局長より報告された。

②投稿した台湾在住の会員から、会費の納入が難しいため、来年一括納入するとの話があり、特例として認めたいと、王事務局長から報告があり、承認された。

③王事務局長から学会誌の投稿原稿の 1 頁の字数を変更することが提案され、再度検討することとなった。

④特集号は 12 本の論文が揃い、これから編集作業に入ることが王事務局長から報告された。

2. 会費納入の現状

今年 5 月以降、新入会員が 25 名ほどあり、現在の会員数 276 名のうち 156 名（約 57%）から会費の納入があったことが白石会計係から報告された。

3. 学会誌送付の現状

181 冊を査読協力者、著者、会員に配布済みとの報告が竹島理事からあった。

2. 日中対照言語学会第 4 2 回大会（2019 年度冬季大会）開催のご案内

日 時： 2019 年 12 月 22 日（日）9：20～16：35

会 場： 大阪産業大学梅田サテライト（JR 大阪駅南口下車、阪神百貨店右の通りを直進、徒歩約 5 分）。

大阪駅前第三ビル 19 階。大阪市北区梅田 1-1-3（電話 06-6442-5522）

参加費： 1,000 円（会員、非会員共通）

プ ロ グ ラ ム

受付（8：50-

総合司会 丸尾 誠（名古屋大学）

大会開催校挨拶 張 黎（大阪産業大学） 9：20-9：25

開会の辞 彭 飛（京都外国語大学） 9：25-9：30

研究発表 1. 接続助詞「のに」による言いさし文に関する研究

—中国語の副詞“明明”文との対照を中心に— 9：30-10：05

何 潔（九州大学大学院）

研究発表 2. 脳内時空間と文法 —“在+場所”と“在+動詞”— 10：05-10：40

岡原 嗣春（大阪産業大学非常勤講師）

以上司会 下地 早智子（神戸市外国語大学）

休憩（10 分間 10：40-10：50）

研究発表 3. 又吉直樹著『火花』と毛丹青译《火花》

— 日中対照表現論・文学作品(日→中)事例研究② —

10:50-11:25

藤田 昌志 (三重大学)

研究発表 4. 论形容词的几种特性

11:25-12:00

时 卫国 (山东大学)

以上司会 余 維 (関西外国語大学)

昼休み (60 分間 ビルの階下に食堂街あり)

12:00-13:00

講演

关于“流动”事件的汉日两语表述方式对比研究

13:00-14:00

古川 裕 (大阪大学)

以上司会 彭 飛 (京都外国語大学)

研究発表 5. 「慰め」行動における日中比較研究

14:00-14:35

高 琳 (神戸大学大学院)

研究発表 6. 中国語における「一」を伴う数量表現」の用い方の特徴について

— 日本語との対照の視点から —

14:35-15:10

吉野 孝介 (京都外国語大学大学院)

以上司会 安本 真弓 (跡見女子学園大学)

休憩 (10 分間 : 15:10-15:20)

研究発表 7. 「恵まれる」構文の特異性について

15:20-15:55

馮 一峰 (京都外国語大学大学院)

研究発表 8. 中国語の“被”構文と日本語の受身文の重なりと相異

— 述語動詞の範囲を中心に —

15:55-16:30

劉 嘉勇 (名古屋大学大学院)

以上司会 王 学群 (東洋大学)

閉会の辞 加藤 晴子 (東京外国語大学)

16:30

※ 昼食の間、拡大常務理事会を開催予定。

※ 当日入会申し込み、学会費の納入も受け付けます (年会費 : 社会人 4,000 円、院生 2,000 円)。

注 : 講演及び研究発表の要旨は、学会の HP に掲載されますので、そちらをご参照ください。

<http://jccls.jp/>

3. 2019年度月例会 (2019年6月~2019年10月)

2019年6月15日 (土) 17:00~19:00

場 所 : 東洋大学経営学部会議室 (白山キャンパス 2号館 11階)

発表者 : 白石 裕一 (中央大学兼任講師)

テーマ : 従属節が“是+NP”の仮定表現について

— “就”と“了”の文法的意味を求めて —

2019年7月20日（土）17：00～19：00

場 所：東洋大学経済学部会議室（白山キャンパス 2号館9階）

発表者：王 学群（東洋大学）

テーマ：日中対照研究—日本語の「～力」と中国語の“……力”を中心に—

2019年10月19日（土）17：30～19：30

場 所：大東文化会館 K-404

発表者：新田 小雨子（早稲田大学非常勤講師）

テーマ：中国語の仮定複文の構文形式についての研究 — “如果”文を中心として—

事務局より

- 1) 本学会への入会は、日中対照言語学会ホームページ上で随時受け付けています。ホームページ上からの申し込みができない場合、王学群事務局 (ohgakubun@toyo.jp)、または竹島毅常務理事 (sisi@kkd.biglobe.ne.jp) までご連絡をください。年間会費は社会人 4,000 円、院生 2,000 円となっています。
- 2) 毎月の例会の開催は、郵送ではなく、メールにてお知らせしております。不明の方がいらっしゃいますので、ぜひお知らせいただきたくお願い申し上げます。また、メール変更につきましても、同様にお願ひ申し上げます。
- 3) 年間会費の納入につきましては、大会開催時に受け付けております。また、都合により出席されない会員に対しては次号の会報から請求書を送付させていただきますので、ご納入のほどよろしくお願ひいたします。



日中対照言語学会ホームページ <http://jecls.jp>